

令和2年度事業報告

令和2年度は以下の行動計画に基づき事業を行った。

本協議会の設立趣旨を再確認し、福祉人材養成と大学教育を巡るさまざまな課題に加盟大学が連携・協力して取り組み、福祉系大学に寄せられている社会的要請に応じていくよう、次の行動計画に基づき活動を行う。

1. 社会的発信力の向上

- 1) 厳しい学生募集環境や、福祉人材の育成・確保に関する課題、福祉職の地位向上に関する問題等の解決に向けて、会員校が一致して取り組むことができる事業を検討・実施する。【総務・企画委員会】
- 2) 本協議会の趣旨に賛同いただける会員校の拡大に、引き続き取り組む。【総務・企画委員会】
- 3) 福祉を学ぶことの価値・魅力の発信、ソーシャルワーカーの認知度および地位向上の取り組みについて、関係団体・省庁等と連携して進める。【総務・企画委員会】
- 4) 高大接続の観点から、高校生・高校教員に対する「福祉の魅力・価値」の発信を強化する。本協議会ホームページ上で、会員校が行う福祉系のイベント・作成教材等の情報を発信する。【総務・企画委員会】
- 5) Webを用いた諸会議、委員会活動を併用し、会員校のさらなる情報交換の機会拡大、委員会活動の活発化を図る。

2. 各委員会の取り組みについて

引き続き下記の委員会を設置し、各課題解決に向けて取り組みを進める。会員校は、希望に基づき、各委員会に所属するものとする。各事業推進にあたっては、会員校間の連携強化につながり、全体で取り組むことの効果を追求し、進めていく。

◎令和2年度設置委員会

- ①総務・企画委員会
- ②研究活動・教育向上委員会
- ③就職委員会
- ④学生募集戦略検討委員会
- ⑤大規模災害対応委員会

1) 総務・企画委員会

- ・各委員会と連携し、取り組みの発信を強化していく。
- ・引き続き、学生募集戦略検討委員会と共催で、厳しい学生募集状況の改善に繋がる事業を推進する。
- ・研究活動・教育向上委員会と共催で、コロナ禍における教育・研究・実習の課題に取り組む。
また、社会変化および高校生のニーズに応え、福祉系学部・学科の魅力向上に繋がるカリキュラムのあり方について研究・検討をすすめ、関係団体との懇談にも取り組む。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響で、今年度第1回総会および勉強会（6月）は集合型で開催できなかった。勉強会については、after コロナ時代も見据えた「with コロナ時代の福祉系大学のあり方」を探ることをテーマに、別途企画する（8月末～9月頃）。
- ・高大接続の取り組みとして、会員校が高校生・高校教員向けに実施している福祉系のイベント・作成教材等の情報を集約し、本協議会ホームページで発信する。

2) 研究活動・教育向上委員会

- ・コロナ禍における教育・研究・実習への対応について、会員校にアンケートを実施する。アンケート結果を踏まえ、Webによる勉強会を実施する（7月上旬頃）。
- ・社会福祉国家試験の問題等内容に関わって会員校へのアンケートを実施する。問題の精度向上に資するため、必要に応じて意見提出等を行う。

3) 就職委員会

- ・昨今の新型コロナウイルス感染症による各大学の就職支援状況や求人、採用試験の動向等についてZoomを利用したWEBによる意見交換会を実施する（9月頃）。
- ・昨年度に引き続き、就職担当者向けの情報交換会を開催し、就職支援に向けた情報共有、意見交換を行い、就職支援諸施策の充実を図る（11月～12月頃）。
情報交換会は、昨年度の就職委員会アンケートの結果や昨今の社会情勢を踏まえて、福祉系大学に共通する課題をテーマとし実施する。
※就職担当者向け情報交換会の開催については、新型コロナウイルス感染症の状況により、WEBによる開催もしくは中止する場合がある。

4) 学生募集戦略検討委員会

- ・平成30年度より継続中の、協議会特設サイトをハブとした学生募集戦略に引き続き取り組む。
- ・サイト内『全国で活躍するセンパイの想い』の充実に加え、前年度勉強会で上げられた在学生情報の発信についても推進する。
- ・SNS連動広告を活用したWeb施策を引き続き実施し、得られた知見を勉強会でフィードバックする。
- ・会員校のWebオープンキャンパス等の情報を集約し協議会ホームページで発信する。
- ・勉強会については年間4回を予定（4、6、8、10月頃）。今年度よりZoom等オンラインを活用しながらも、適宜対面にて相互の交流を図る。内容としては、コロナ禍における学生募集・入試についての情報交換、事業効果の検証、次年度の実施計画検討等を行う。

5) 大規模災害対応委員会

- ・被災経験・避難所開設経験のある会員校を対象とする災害対応に関する調査の実施
大規模災害時における会員校同士の相互連携・協力の在り方を検討するための基礎資料を得ることを目的として本調査を実施する。本調査は、社会福祉士養成の観点から、被災後の大学の対応（学生の安否確認、実習先の調整、補講対応等々）について調査する。
- ・日本看護系大学協議会 災害支援対策委員会の取り組みに関する聞き取り調査（秋以降を予定）

以上

1. 総会の開催

1) 令和2年度第1回総会

- 日 時 令和2年6月26日
- 形 式 書面決議
- 内 容 1.新規加盟校、退会加盟校等のご紹介
2.令和元年度事業報告および決算について(案)
3.令和2年度事業計画および予算について(案)
4.その他
 - 1)会員校調査結果一覧
 - 2)2020年度鉄道弘済会奨学生選考結果
 - 3)その他

2) 令和2年度第2回総会

- 日 時 令和3年1月26日（火）10:00～12:00
 - 形 式 オンライン
 - 内 容 1. 令和2年度各委員会活動経過報告
 - 1)総務・企画委員会
 - 2)研究活動・教育向上委員会
 - 3)就職委員会
 - 4)学生募集戦略検討委員会
 - 5)大規模災害対応委員会
 - 2. 令和3年度鉄道弘済会奨学生について
 - 3. 意見交換
 - <話題提供>
 - ・東北福祉大学「高大連携入試」の取り組み
報告：学長 千葉公慈 氏
 - ・長崎国際大学「地方創生支援リーダー育成入試」の取り組み
報告：副学長 木村勝彦 氏
- 出 席 19 大学 30 名

2. 理事会の開催

1) 令和2年度1回理事会

- 日 時 令和2年6月8日（月）14:30～16:00
- 形 式 オンライン
- 内 容 <議事>
 - 1. 令和2年度第1回総会議事について
 - 2. コロナ禍における各校の対応について（情報交換）
 - 3. その他
- 出 席 8大学17名

2) 令和2年度2回理事会

- 日 時 令和2年9月3日（木）15:00～17:00
- 形 式 オンライン
- 内 容 1. 令和2年度総務・企画委員会主催事業について
 - ①勉強会について
 - ②高校生（受験生）向けのメッセージ動画作成について
- 2. 令和2年度第2回総会について
- 3. コロナ禍における各校の対応について（情報交換）
- 4. その他
- 出 席 8大学17名

3) 令和2年度3回理事会

- 日 時 令和3年1月21日（木）14:00～15:30
- 形 式 オンライン
- 内 容 1. 令和2年度第2回総会議事について
- 2. 今後の予定について
- 出 席 8大学17名

4) 令和2年度4回理事会

- 日 時 令和3年3月17日（水）14:55～16:00
- 形 式 オンライン
- 内 容 1. 今期の取り組み総括および次期の課題について
- 2. 次期体制について（役員・委員会）
- 3. 今後の予定について
- 4. 【話題提供】子ども家庭福祉に関する資格のあり方について
- 5. その他
- 出 席 7大学13名

3. 各委員会活動

1) 総務・企画委員会

- ①運営概況調査と進路調査の実施

- 日 時 令和2年4月20日(月)
- 内 容 1. 令和2年度生入試の状況(福祉系学部・学科)(1年次入学・3年次編入学)
2. 令和2年度在学生数の状況(福祉系学部・学科)
3. 令和元年度社会福祉士及び精神保健福祉士国家試験の状況(新卒者)
4. 令和元年度進路状況
5. 令和元年度社会福祉士・精神保健福祉士国家試験合格者の進路状況
6. 令和元年度医療・福祉分野における資格取得・国家試験の状況(新卒者)

②コロナ禍における各校の対応アンケート実施

- 日 時 令和2年6月16日(火)(会員校へのアンケート結果配信:7月15日)

③福祉系大学経営者協議会ホームページリニューアル版の公開

- 日 時 令和2年11月26日(木)

④高校生向け動画「加盟校から高校生へのメッセージ」のWeb公開(27大学分)

- 日 時 令和2年12月3日(木)

⑤勉強会の実施

- 日 時 令和2年12月3日(木)

- 内 容 テーマ「Withコロナ時代の福祉専門職の育成を考える」

〈冒頭挨拶〉会長 丸山悟

〈第1部特別講演〉

演題:コロナ後の社会の展望ー持続可能な福祉社会を目指してー

講師:京都大学こころの未来研究センター 副センター長・教授 広井良典氏

〈第2部シンポジウム〉

テーマ:Withコロナ時代の福祉専門職の育成を考える

シンポジスト:社会福祉法人 全国社会福祉協議会 副会長 古都賢一氏

全国社会福祉法人経営者協議会 研修委員会専門委員・社会福祉法人
同愛会常務理事 菊地月香氏

福祉系大学経営者協議会 理事・ルーテル学院大学 学術顧問
市川一宏氏

コメンテーター:厚生労働省 社会・援護局 福祉基盤課長 宇野 禎晃氏

コーディネーター:日本福祉大学 副学長 原田正樹氏

〈閉会挨拶〉副会長 長谷川匡俊

- 参加者 17大学108名

2) 研究活動・教育向上委員会

- ①新型コロナウイルス感染拡大に伴う実習等の対応に関する情報交換会の実施

- 日 時 令和2年7月17日(金) 13:30~15:30

- 形 式 オンライン
- 内 容 1. 日本ソーシャルワーク教育学校連盟調査報告
報告：日本ソーシャルワーク教育学校連盟 事務局長 小森敦 氏
- 2. 事前アンケートをもとに情報交換会
第1部 授業全般の実施状況や課題
第2部 演習の実施状況や課題
第3部 実習の見通し・実施方法、課題
- 3. まとめ
- 出 席 12 大学 28 名

②社会福祉士国家試験の問題内容に関する会員校アンケートの実施

○日 時 令和3年2月3日

③実習及び新カリキュラム導入に関わる情報交換会の実施

○日 時 令和3年3月9日（火）14:00～16:00

○形 式 オンライン

- 内 容 ①新型コロナウイルス禍での実習・演習等の対応について
- ②社会福祉士養成新カリキュラム導入への対応について

○出 席 16 大学 37 名

3) 就職委員会

①第1回意見交換会の実施

○日 時 令和2年9月10日（木）14:00～15:30

○形 式 オンライン

- 内 容 1. 話題提供「アフターコロナ時代を見据えた就職支援対策等について」
報告：株式会社マイナビ メディカル情報事業部 企画広報統括部 九州企画広報部
部長 小田浩史 氏
- 2. 話題提供を受けて質疑応答
- 3. 意見交換会
 - ・コロナ禍での各大学における就職支援の状況について就職面談、面接練習の方法、対面による就職支援との学生の理解度反応の違い、3年次以下の学生へのガイダンス、合同説明会の開催方法等)
 - ・コロナ禍でのインターンシップの現状、課題

○出 席 11 大学 21 名

4) 学生募集戦略検討委員会

①特設サイト「全国で活躍するセンパイの思い」に、卒業生に加え新たに在学生の情報を掲載した。

②Twitter 広告を配信し、「福祉」に親和性のある潜在層の可視化」に取り組んだ。昨年度の配信結果や、

コロナ禍であることを踏まえ、「災害・震災・復興」「コロナ」関連の広告 3 パターンを配信した(配信期間: 7月3日~7月10日)。

配信期間中の「インプレッション」(ユーザーの Twitter タイムラインに広告が表示される回数)は 1,379,321、「エンゲージメント」(広告が気に入り、プロフィールクリックや、いいね、リツイート等、アクションをいた回数)は 19,799、「リンクのクリック数」(より深い情報を求め、リンクボタンをクリックした回数)は 8,872 であった。

また、全てのパターンにおいて、反応率が過去の平均反応率(0.16)%を超え、特に「災害・震災・復興」関連の広告は 1.38%と好反応率を示した。広告配信期間に令和 2 年 7 月豪雨が起き、被災地域を問わず高校生の心理変容に影響したことが要因と推測される。

③学募共同事業勉強会を 3 回実施し、Twitter 広告の検証結果、学募上の課題、次年度施策等を検討した。

【第 1 回勉強会】

○日 時 令和 2 年 4 月 27 日(金) 16:00~17:30

○形 式 オンライン

○内 容 1. 昨年度入試結果および今年度の見通しについて

報告:株式会社リクルートマーケティングパートナーズ 飯島隆介 氏

2. 2020 年度学募共同事業施策について

報告者:株式会社ボーダーリズム 横地祐人 氏

3. 意見交換/各校の学募状況の情報交換

○出 席 13 大学 29 名

【第 2 回勉強会】

○日 時 令和 2 年 8 月 4 日(火) 14:00~15:30

○形 式 オンライン

○内 容 1. 2020 年度学募共同事業施策の結果について

報告:株式会社ボーダーリズム 横地祐人 氏

2. コロナ禍が及ぼす高校生の進路選択における心理変容について

報告:株式会社リクルートマーケティングパートナーズ 飯島隆介 氏

3. 各校の学募事業、入試事業に関わる情報交換

○出 席 13 大学 25 名

【第 3 回勉強会】

○日 時 令和 2 年 12 月 22 日(火) 10:30~12:10

○形 式 オンライン

○内 容 1. リクルート・ブランド力調査結果について

報告:株式会社リクルートマーケティングパートナーズ 飯島隆介 氏

2. 2021 年度学募共同事業について

報告:株式会社ボーダーリズム 横地祐人 氏

3. 情報交換

○出席 12大学 32名

④WEB オープンキャンパス開催に関するアンケート配信を行った。

○日時 令和2年6月10日(水)

⑤協議会のサイト内にWEB オープンキャンパスページを作成し、公開した。

○日時 令和2年6月23日(木)

5) 大規模災害対応委員会

①幹事校(関西福祉科学大学)主催の防災に関するイベント「令和2年度 避難所運営演習」の動画を希望する会員校に配布した。

②今年度、日本看護系大学協議会 災害支援対策委員会の取り組みに関する聞き取り調査を実施予定であったが、中止となった。被災経験だけでなく避難所開設経験のある大学も調査対象とし、次年度に長野大学に対する聞き取り調査を実施する予定である。

以上